



# 塚越小だより



令和5年度No.12  
令和6年2月29日  
蕨市立塚越小学校  
048-442-2218  
全校児童数388名

学校教育目標：かしこく・やさしく・たくましく



## 節目を大切に 感謝の心を大切に

校長 竹越 典子

立春が過ぎ、陽射しに春の訪れを感じるようになってきました。

令和5年度もいよいよあと1か月となり、各学年のまとめや進学・進級の準備の時期になってきます。

3月22日は、本校第54回卒業証書授与式、26日は令和5年度修了式となります。今年度は61名の6年生が卒業していきますが、塚越小学校の最高学年と

して、本当によくがんばりました。1年生とのふれあい遠足や縦割り班活動などでは、下級生の面倒をよく見ていましたし、運動会などの行事や、委員会活動、クラブ活動ではリーダーシップを発揮していました。そして、何よりも素晴らしいのは、自分たちで考え、工夫し、行動する力をつけたことです。学校のためにと下級生たちへの応援(学校だより12月号掲載)や、3月末の奉仕活動(学校をきれいにしよう)などです。自分たちの思いをしっかりと行動に表し、塚越小を力強く支えてくれました。本当にありがとう。1～5年生には、これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを持ち、卒業を祝福するとともに6年生の残してくれたものをしっかりと受け継いでくれることを期待します。

さて、小学校卒業という大きな『節目』です。今月は『節目』について考えてみました。

私たちの身近にある竹ですが、竹は細くて長いのに、雪が降ってもその重みに負けず、強い風でもしなやかに吹かれて、折れたりすることはほとんどありません。しかも、竹はぐんぐん伸びて、すぐ大きくなります。それにはどんな秘密があるのでしょうか…。

それは、竹には『節』があるからです。雪の重みや強い風があっても、節があるので大きくしなることができ、元に戻れるのです。また、節ごとに成長点があって、ぐんぐん伸びることができるそうです。(節目ごとに成長点をもつことで1日に80センチ～100センチメートル成長し、2カ月弱で20メートルにもなるそうです。)

では、人にとって、困難に負けず強く生きていくために『節』となるものは何だろうと考え、それは、生活している中の『節目』ではないかと思えます。節目とは、生活していく中で区切りとなる時期のことです。

「新しい年になる」「新しい学年になる」「中学校への進学」という大きな『節目』を大切に、しっかりと目標をもって生活して欲しいと願っています。竹が節をつくり、外からの多くの力をしなやかに、力強く受け止め成長する姿は、子供たちが目標に向かって頑張ろうと辛抱強く取り組む姿そのものです。

塚越小の子供たちには、「新しい学年への進級」「中学校への進学」という大きな『節目』を大切に、しっかりと目標を持ち、前向きな気持ちで生活して欲しいと願っています。

令和5年度が終わりに近づいています。この1年間での努力で、子供たちは確実に成長しました。その成長をしっかりと評価し、次の学年へとつなげていきたいと思っています。年度が変わるという『節目』を大事にし、さらに充実した教育活動が展開できるよう、保護者や地域のみなさまから信頼いただける学校にしていけるよう取り組んでまいります。

本年度いただきましたたくさんのご支援、ご協力に感謝申し上げます。本年度の締めくくりがしっかりとできるような努めてまいりますので、来年度も変わらぬご支援をお願いいたします。